



# NSバトルクライ

#193

4 / 2023 (134)

## イサベル・メディナ・ペラルタ氏インタビュー

### はじめに

インタビュー形式「Front Line Reports」の最新号では、NSDAP/AOの政治理論を扱うドイツの新しいオンラインマガジン「Der Angriff (DA)/The Attack」で、スペインの民族主義活動家イサベル・メディナ・ペラルタにインタビューを行いました



た。インタビューは編集長の "Wehrwolf "が担当しました。

[www.nsdapao.info](http://www.nsdapao.info)

インタビュー

DAです。自己紹介をお願いします。

イサベル・メディナ・ペラルタ

私は、何よりも国家社会主義者である。私は、自分の義務を果たす政治的な兵士である。私は、人間（私の場合は女性）は、その行動によって、世界を理解し、その中で自分を表現する特別な方法によって、定義されると理解しています。私が選んだ道は、行動する道です。「私は信じ、私は戦う」、これが私の存在の定言命法である。

DAです。政治活動を始めたのはいつ頃で、その動機は何だったのでしょうか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

私が政治に積極的に取り組み始めたのは、13歳のときです。その時、私は人間の訓練と文化的能力を評価し始めたので、役に立つと思われるものはすべて読むようにしたのである。最初に読んだのは哲学でしたが、すべての道はローマに通じており、この場合、地に足のついた実践的な政治思想に通じていました。私の行動、振る舞い、嗜好、鑑賞は、物心ついたときからずっと、ファシストである。

14歳のとき、私は会議やデモに参加するようになり、まもなく政治情報とアウトリーチのための雑誌を創刊しました。そして、私は自分の人生の選択が変質していることに気づき始めたのです。しかし、私の政治的所属が引き起こすすべての問題は、愚かなものに思えた。敵は、私が偉大さと不死のために戦っていることを知らなかったのだ！解き放たれた混沌の意志、狂った世界を秩序に戻すこと、秩序の最高のプラトンの意味での守護者として行動すること、それが国家社会主義が自らに

課した急務であり、私もまた自らに課した任務である。私の動機は、美と調和を守るために行動すること、徳によって行動すること、そして芸術を宇宙の中心という重要な格言の中に位置づけることです。

**DA:**スペイン国内、あるいは国際的に、政党や組織と協力したことはありますか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

はい。前にも述べたように、私は、スペイン・ファシズムの中の民族社会主義路線に属するジョンシスタ週刊紙を創刊して政治活動を開始しました。その名前は、1931年にラミロ・レデスマ・ラモスの筆でスペインのファシスト政治闘争を始めた週刊紙にちなんで「La Conquista del Estado」とした。発行後、私は同志や読者、プロジェクトに参加する人たちに会うようになった。現在、私の最も忠実な同志であり親友である人物と出会ったとき、私は彼とともにファランジュでの戦闘的な期間を始めたが、党に身を捧げてから数年後、私は現在の社会状況が党の本質を引きずり、その創設者の誰とも認識できない状態にすることを確認することができた。そこで私は、バイラルメディアのアクションで国民の意識を揺さぶることを主目的とした未熟な若者集団「バステイオン・フロンタル」で闘い始めた。解散後、私は、未来に向けた強固で壊れにくい構造を読み解き、新たなステップを準備することになった。とはいえ、私はスペインの同志たちとともに文化団体に参加し、国際的に戦っています。ドイツの政党「Der Dritte Weg」でも、イギリスの雑誌「Heritage and Destiny」でも、定期的に記事を寄稿しています。また、ブラジル、フランス、イタリアのある政党とも連絡を取り合い、協力関係を保っています。

**DA**です。あなたはまだ「バステイオン・フロンタル」とつながっているのですか？もしそうなら、その組織の歴史や目標について、読者に教えてください。

イサベル・メディナ・ペラルタ

バステイオン・フロンタルは、政治闘争とストリート・アクションの考え方に基づいた若者の過激派組織であった。政治的論争、社会的不公正、経済危機の情勢の中で、パンデミックからマドリッドで生まれ、もちろんそれはグループの早熟な成長を助長するものであった。しかし、確固たる指揮権、具体的なイデオロギー的決意、将来への展望が欠けていた。私が入党を決めたとき、この党がスペインの社会情勢に永続的に適用できるようなものではないこと、また、党自体が単に良心をかき立てる行動集団として機能し、決然とした行動によってメディアで反響を得るしかないことがはっきりとわかりました。その意味では、国会でも取り上げられたの

で、目的は達成された。しかし、その後、一部の人間の問題行動、多くの過激派の不規律や矛盾、さらに公の場に出ることによる法的な問題などが、兵士たちの闘志を失わせる失望の原因となりました。私は、危険な状況のために自国から決断できる可能性がないままドイツにいたため、あるリーダーとの相違により、解散の1ヶ月前に党を去りました。私の決断は、グループとその役員の将来が、私の思想的思考や戦闘的倫理観からかけ離れていたことに基づくものであった。

**DA:** あなたは、2021年2月13日にマドリードで、第二次世界大戦中のスペインのファランギスト義勇軍「アズール」（「スペイン義勇軍」）について、青いファランギストのシャツを着て演説し、初めて世間にアピールした。このスピーチは、国際的な規模でも多くの論争を巻き起こしました。- この演説の動機と、ファランギストのユニフォームを着てそこに現れるというあなたの決断について、読者に説明してください。

イサベル・メディナ・ペラルタ

18歳になったばかりの私が、英雄に捧げられたパンテオンで、300人の観客の前でマイクを持ったまま、なぜそこにいたのか、本当に説明することができないのです。私がスペインで多少なりとも知られていたのは、私の行動と、その結果に対する軽蔑が、少女を男性と同等の政治的兵士にしたためです。例えば、私が15歳の時、イギリスの反ファシスト・チームのフリーガンが大勢マドリードに来了。友人たちが作戦を考えている間、私は彼らの前に立ち、自分の考えを実行することにした。その結果、反ファシストたちはたった一人の少女に屈辱を与えられたのである。また、私の性格や容姿を考慮すると、ある団体は、新たな聴衆を惹きつけ、攻撃的でない新しいメディア・イメージを与えるために、デモで私に声を与えることを決めたのだと思う。しかし、あの日、この「プロパガンダの決定」は、少し手に負えなくなった。私の演説で、私はその人たち全員に師団兵の武骨さと倫理観を呼び覚ましたかったし、スペインの戦士の美点とその歴史を称えたかったし、何よりも私の言葉の響きを風が鳴らし、墓地の糸杉を震わせるようにしたかった。議論の余地のない真実を伝えること、歴史の不変の声を伝えること。私は、中途半端な手段や、腐敗した社会でより良い評価を得るためにイデオロギーに背くことは、決してどこにもつながらないと信じています。誰かがコミュニティのために自分の特権を犠牲にしなければならないと思います。正直なところ、私はそれをするに抵抗はありません。なぜなら、自分の義務を果たすことは、名誉ある人間にとって最も重要なことだからです。そして何より、私は過激派に、巨大な理想のために人生を犠牲にすることができなければ、人生は無価値であることを認識させようとした。

演説の中で私は、まずアドルフ・ヒトラーの言葉を借りて、スペイン軍の栄光の偉業を宣言しました。そして、今世紀の同志たちに、結果を軽んじるよう促しました。罰金や小さな懲役、あるいは「ナチ」であるために恋人に捨てられること、これらの小さな状況は、我々の目的のために命を捧げた人たちに比べれば何もありません。すでに申し上げたとおりです。

"ロシアの草原の寒さとクラスニーボルでの火災を生き延びた人々は、1000年にわたる偉大さと栄光を守るために、シャルルマーニュ部隊とともに、SSとともに、ベルリンで摂理に挑戦するために戻って行った。"

死は彼らにとっての終わりではなく、ヒトラー主義という時代の始まりだったので。今日、私たちは彼らが行ったように戦わなければなりません。「私たちの行為の一つ一つに革命を存在させなければなりません。たとえ死が訪れるとしても。その場合、太陽の下でも星の下でも死ぬでしょうが、私たちの血は若返った春のように肥沃になるのですから」。

最後に、私は、すべての腐敗の父、世界の支配者、移民、道徳的退廃、金融危機の扇動者と闘うことの必要性を強調しました。「ヨーロッパとスペインのために戦うことは、私たちの至上の義務です。スペインは現在、敵によって弱体化し、清算されています。なぜなら、この断言ほど確かなことはない、ユダヤ人が悪いのだ。"

私は、統一性の原則のためにファランギストのシャツを着ていました。たとえ出席者の中で声を上げたりマイクを握ったりしたのが私であっても、同志と私を区別するものは何もありません。青いシャツは、私たちが皆、共通の理念のために戦っていること、そしてその理念に比べれば私たちは皆取るに足らない存在であることを思い出させてくれます。さらに、スペイン兵はこうして戦っていた。復活のシンボルである鉤十字の隣に青いシャツ。

**DA**です。残念ながら、フランコは正式に枢軸に参加しませんでした。この決断の背景にはどのような意図があったのでしょうか。また、同盟は枢軸国の戦争努力に大きな影響を与えることができたと思いますか？

イザベル・ペラルタ

1930年代初頭、すでにヨーロッパ中の若者の魂を席卷していた精神と同じ、新しい精神が形作られ始めた。この運動は、『La conquista del Estado』の編集長兼書記長

であったラミロ・レデスマ・ラモスによって創設された。

その後、彼はホセ・アントニオのファランジュに参加したが、あまり戦闘的ではなく、穏健で、ドイツよりのカトリックであった。当然のことながら、これはすぐに分裂につながった。しかし、レデスマとホセ・アントニオはともに、スペインにおけるファシズムの指導者の層に達した。内戦が始まると、ファランジュとJONSの指導者や幹部はすべて投獄され、銃殺された。ホセ・アントニオの場合、フランコが彼を救う可能性があったことが印象的で、彼は釈放の提案を断念している。

最高の軍事的厳しさで教育された戦略家であるフランコは、これらの指導者の人生にはまったく興味を示さなかった。戦争に勝利すると、彼はファランジュ、そのシンボル、教義（少なくとも理論的には）、国歌を掌握した。彼は党を合併し、カーリスト、ファシスト、保守派、リベラル派、カトリックの間のイデオロギー的カクテルを作り、ヒトラーが最初の立場を進めることで戦争に勝つと信じられていたが、彼は総統の支持者であった。彼らはヘンダイで会談するようになり、ヒトラーは“フランコと再び会う前に、自分の歯を一本ずつ抜かれた方がましだ”と宣言した。

そして神々の黄昏が訪れ、ベルリンの廃墟の下で、美しく、調和的で、正義と真実のすべてが屈服していった。スペインでは、ファシストの敬礼が公式なものとして排除され、ファランジュの「カミサ・ビエハス」が攻撃され排除され、テクノクラートへと変更され、彼らは結局、シオニズムに同意して、金銭と引き換えにスペインに軍事基地を設置した。

**DA:** 「ブルーディビジョン」についてのスピーチの中で、あなたは国際的なユダヤ人の影響についても言及しています。この特別なテーマについて、これほど若くしてはっきりとわかることはあまりありませんし、また、年齢の問題ではなく、最近公の場で、特にEU内でユダヤ人の影響力について話すことは難しいので、私はそれに非常に感銘を受けました。ユダヤ人問題についてどのように学んだか、読者に説明してください。

イサベル・メディナ・ペラルタ

難しいことですが、本質的に必要なことなのです。人間は問題が何であるかを知る必要があります、それに形、顔、名前を与える必要があります。問題の名前はユダヤ教であり、国際ユダヤ教であり、他国民や物事の調和を完全に蔑ろにするものである。彼らは人々の不幸を推測し、寄生虫のように国民組織に有害な思想を埋め込む。昨日

は共産主義、今日は反人種主義、フェミニズム、LGTBIだ。寄生虫は寄生虫であり、治療法を見つけるためには、まず寄生虫であることを確認する必要があります。私たちは、ユダヤ人問題がいかに危険であるかを知っているのです。しかし、私たちは目をそむけ、「エリート」「選ばれた人々」などという愛想のいい婉曲表現で他人の目をそらすことを好む。私は世界の勉強を始めてから、ユダヤ人の問題を勉強し始めた。報道機関、銀行、エネルギー会社、石油.....世界の歴史を調べると、エジプトからローマのプラエトルまで、シーザー、ロシア皇帝、ルーマニア人、イギリス、スペイン、フランスの征服者を経て、ユダヤ人に対する追放のエピソードがあることに、さりげなく気づくのです。イデオロギー的な偏見なしに事実を分析し、目隠しを外すと、「ユダヤ人」というたった一つの名前を発見することができます。

**DA**です。では、あなたの政治的見解をトータルでどのように定義しますか？ファランギスト的な方向性なのか、それともフランシスコ・フランコの立場に近い方向性なのか。

イサベル・メディナ・ペラルタ

私は国家社会主義者です。最初に私がファランジュで政治活動を始めたのは、ラミロ・レデスマ・ラモスへの献身と、ホセ・アントニオと私たちの戦死者の犠牲への感謝のためです。新しいファランジュでは、私は党の同志によれば「ソイルブルー」（茶色のシャツの比喻）であったため、多くの思想的相違がありました。青いシャツは党のシャツであり、労働者階級の真面目でプロレタリア的な精神を表している。私は演説でそれを着ることにした。第一に、根拠ある統一性の原則による。第二に、ファランギスト兵士のドイツ国防軍の制服の下には、わが国とその輝かしい歴史を思い起こさせる青が覗いているからだ。彼らの賛美歌に「海の青の上に太陽の道を辿る方法を知っていた祖国への栄光」とあるように、全世界を征服してきた。

それでも、私の教義は純粋な国家社会主義であり、神々やヒトラーの命令にしか従わないので、その本質を悪であるかのように流したり「薄めたり」しようとする新党や「第4の政治理論」は、私にとって思想的違反であり神々に対する不名誉のための非常に重大な過ちとして提示されます。

**DA**です。個人的には、1936年から1939年にかけてのスペイン内戦の背景は、現在の西欧諸国が置かれている状況の良い例だと思いますし、それだけに、スペイン内戦の歴史がスペイン以外の多くの人々にとってまだ希薄であることも残念に思えます。

す。 - このテーマについて、あなたはどのようにお考えですか？スペイン内戦を引き起こした左派と右派の間の大規模な政治的緊張の状況は、西側世界の現在の状況に似ていると思いますか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

この質問に対する私の答えは、ホセ・アントニオ、プリモ・デ・リベラが処刑の早朝にすでに述べたものである。「私は、内戦によるスペインの流血が私のもので最後であることを願い、愛すべき資質に富むスペイン人が平和とパンと正義の祖国を見つけることを願っています」。しかし、現実的な観点から状況を見ると、スペイン国民が互いに同意したことはほとんどない。私たちが帝国を失ったのは、イギリスの船が受けたユダヤ人の融資のせいでもあり、内部の不和のせいでもある。私たちの太陽帝国が崩壊した原因は、内部の混乱と調和の欠如にほかなりません。今日、私たちは類似点を見ることができます。第二共和制の宣言は、私たちの国民に対する自由主義と個人主義の勝利にほかならない。時に左へ、時に右へ。今日、私たちは、これらの陳腐で味気ない考えが、「パルティード・ポピュラー」やPSOE（あの30年代の政治状況にはすでに存在していた政党）に具体化されているのを見ることができます。

この2つの層の外側では、日々、互いに同質性が高まっているため、残りの思想や実践を統合する必要があります。こうしてVoxやPodemosが生まれるのです。マテオ・サルヴィーニのリーグやドイツのAFDに似た政党と、その結果としての反対派。しかし、あの真に急進的な左翼はどうだろうか。そして、ファランゲに存在した狂信的なナショナリズムは？今日の民主主義には、こうした政党や思想の居場所はない。私たちの時代の特徴は、下らない普遍主義、価値観や思想の完全な欠如、集団道徳の低下である。この状況を打破し、退廃的な価値観を転換しなければならない。そのために必要なのは狂信であり、狂信は現代には存在しない。

**DA**です。あなたの国の主な問題点は何ですか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

スペインはもはや主権国家ではなく、今や欧州連合、さらにはグローバル化した世界を構成するそのコングロマリットの小さな一部である。したがって、スペインの問題は、自国の領土にあるのではなく、外国勢力に服従していることにある。



これは、ロンドンやパリほど顕著ではないが、破壊的な速度で進行する具体的な問題であり、自然の秩序、世界の多色性、そしてスペインが国家、地域、国民として世界にもたらすことのできるすべての美を脅かしている。国立統計局の調査によると、小型ボートによる5万8000人の不法移民の入国が登録されているのはアルメリアだけである。バルセロナにはすでにゲットーがあり、自分たちに任されているような郊外で、アフリカの吐き気を催すような一角に何百キロも旅するのと同じような状態になっている。これは、暴力、犯罪、破壊行為の発生率を高める原因になりますが、根本的な問題とは言えません。野生の行動は、強制送還によって直るかもしれませんが、私たちは、このような行為に言説を集中させることはできません。しかし、逆に目を開き、最も誠実なモロッコ人でさえ、5、6人の子供をここで産み、国土で生まれ、スペイン語の両方の書類を持ち、投票し決定できる子供を持ち、スペインでもヨーロッパでもない彼らの文化を、アメリカ大陸を征服したりドンキホーテを書いた国のように歴史書の記憶としてのみ残るであろうすでに占領された領土の中で実践することに気づく必要があるのです。それが今日、貪欲に、美しいものすべてを前進させ、押しつぶし、白人で文明的で創造的な人種の残骸を、死体のように太陽の下で腐らせているのです。移民問題は、EU圏内で最も出生率の低い国のひとつである私の国の出生率の低さを伴っている。スペイン人は快樂主義、最も不条理な個人主義、あるいはフェミニストや同性愛者のファッションのような潮流に見放され、人種の織物の自然再生はほとんど不可能になっています。

一方、経済的な不安定さ、インフラの欠如、軍事的な困惑、自国の領土に軍事基地を持つ外国勢力の支配、活力ある軍隊の欠如、NATOに仕えるセポイの名簿ではないこと。これらの問題はすべて、かつてスペインと呼ばれていた場所の影に共存している。しかし、私たちは本質を見極めなければならない。ユダヤ人とは、低開発国を不安定にし、ヨーロッパへの移民の波を誘導する者であり、人道的で寛容な言葉で文明人の侵略の準備を担当する者であり、女性を騙してその最大の美德を奪い、人間の気をそらし弱らせ、経済を不安定にし複合的で不自然な利害を生み出す者である。それが問題なのだ、国際ユダヤがスペインに行使している支配を取り除き、我々の国民を窒息死させれば、文明は元に戻るだろう。ユダヤ人が悪いのだ。

## DAさんEU（欧州連合）についての（疑惑の）立場は？

イサベル・メディナ・ペラルタ

リチャード・カレルギーは、1920年代の初めにある計画を考案した。この計画は「汎ヨーロッパ」と呼ばれ、その極意の中で、文字通りの意味において、次の訓戒を強調しなければならない。“ヨーロッパの白人人種は滅亡し、従順で支配しやすい新種のネ

グロイド-ユーラシア人に置き換えられなければならない”とね。ユダヤ教の重要な極意は、彼らの神の言葉、“高貴な人種”の世界支配を実現するために、世界の国々を支配し服従させることです。この“高貴な”人種は、アフリカ系やモンゴロイド系のよう、自然法則の多義性の中で受動的で無害で有用な人種ではなく、それどころか、ユダヤ系は破壊的で寄生的で有害である。多かれ少なかれ広大な領土を完全に支配するためには、一連の共通法、いくつかの世界的なイデオロギー的教訓、同一の通貨制度が作られなければならない。彼らはすでにローマでそれを行い、オーストリアの画家がそれを止めるまで、そのように進めようとした。その後、ゴッテルダムメルングで、ヨーロッパは灯火を失い、指針もなく、カレルギーがすでに考案していた計画を実行する時が来たのです。国旗は彼がデザインしたものである（12の星はイスラエルの12部族を表す）。彼の極意は普遍主義、消費主義、個人主義である。世界に貢献した大多数の国々が支配されている。文明化する民族、創造的な民族は、同じシンボルと通貨の下で、ドル取引と連邦準備制度に服従させられている。

確かに各国は独自の法律を持つことができますが、その国の憲法によれば、EUの最大公約数に反することはできません。スペインの場合、以前の憲法があるため、それを修正する必要がありました。また、法制度もブリュッセルから施行される法律に適応させなければなりません。例えば、9月にはユダヤ教保護のための新しい法律がIHRAに従って適用されました。つまり、欧州連合は、ヨーロッパ、その特殊な才能、倫理体系にとって異質な存在なのです。それは病気の一部なのです。

**DA**です。EUといえば：2022年3月、スペイン警察はあなたのドイツ行きについてドイツ連邦共和国（FRG）警察に連絡しました。そしてフランクフルト・マイン空港で身体検査を行い、その後「NSプロパガンダの促進」の疑いで訴訟沙汰になったんだ。この事件は当時、ドイツでもスペインでも大きな話題になりました。その裁判は、最終的にどうなったのですか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

私は無罪となり、9月に荷物が返却されました。今は弁護士が賠償金を求めて闘っています。その事件の後、私はバスではあるが再び入国し、フィレンツェ大学のイタリア人美大生「フランチェスカ・リエンジ」の名で数カ月間生活した。ところが、イギリス旅行でマンチェスター空港でテロ対策法で拘束され、事態はさらに複雑化しました。携帯電話もパソコンもない状態で6日間もイギリスの国で拘束された後、彼らは私を一人にした。その時、私はベルギーに旅立ち、ここから自分の運命を決めることになる。インターポールの捜索・追跡命令が出ていたんです。帰国して事態が落ち着くのを待つしかないと思っていました。しかし、私はドイツの党と同志に対するコミット

メントがあり、自分の説くことに一貫性を持たせなければならなかった。私はバスに乗り、何時間もかけてドイツに到着した。私はデモに行き、自分の義務を果たしました。数週間後、美しいゴシック様式の大聖堂の前にあるカフェテリアで読書を楽しんでいると、職場から、また隣人から電話がかかってきました：警察が私を探しているというのです。私はその場を離れようとしたのですが、警察は私の携帯電話の位置情報を把握していたため、あっという間に追いつき、私がいた町の出入り口を封鎖してしまいました。

1947年の法律が私に適用され、ドイツ連邦共和国の近代史において初めて、欧州連合の市民が、以前に犯罪を犯したという前提もなく、裁判にすらかけられずに永久追放されたのです。連邦共和国によれば、それは国の民主的秩序に対する真の脅威であると考えられていた。20歳の少女が、ヨーロッパで最も強い国の1つにとって最大の危険と見なされる？そうです。彼らは恐れているからです。禁止することに慣れていて、その禁止は恐怖から尊重されています。しかし、私が警察の調書に署名し誓ったように、“私の名誉は忠誠です”。私はドイツのため、ヨーロッパのため、そしてアドルフ・ヒトラーの記憶のために、最初のキリスト教徒がしたように、笑顔で死を受け入れるように突き動かす狂信的な態度で戦います。今日、連邦共和国は、シェンゲン領域での自由な移動（欧州連合条約および人権条約の第1および第2章に含まれる権利）を禁止するために、欧州司法裁判所に資料と上訴を提出するために努力しています。彼らの幸運を祈ります。

**DA**です。ドイツ（の一部）の政治状況についてどうお考えですか？ドイツ連邦共和国、オーストリア連邦共和国、ルクセンブルク）の政治状況についてどう思いますか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

軍事的にも、経済的にも、司法的にも、占領政権である。憲法を構成するあの論文の集合体は、彼らがこの国の主要な問題と考えるもの、すなわち国家社会主義の進展に焦点を当てている。彼らは、シンボル、歴史...あらゆるものを禁止しようと努めているが、何よりも真実と闘うことに努めている。彼らは、人類史上最も有能な民族の一人を滅らし、服従させようとしているのです。ドイツ人であることが何であるかを忘れさせ、文化的、科学的、理論的な成果をあげさせないようにしたいのです。彼らは、彼らから特殊な性格を奪い、個性もアイデンティティもない弱く病んだ民族に貶めようとするのです。ドイツは主権者でもなければ、自らを統治するものでもない。ドイツは奴隷の国であり、これを覆すためには、国際協力の枠組みの中に組み込まれた人民革命が必要である。全世界の国家社会主義者は、アドルフ・ヒトラーに負っている。

DAである。スペインは、この特別な領域におけるヨーロッパの国境の1つとして、**2014/2015年の大量の移民と「難民」危機の主な犠牲者の1人**でした。この歴史的な危機の影響は、まだ測定可能なものがあるのでしょうか？北アフリカのスペイン領の状況はどうでしょうか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

当然ながら、まあ、その多くは何とか定住することができました。問題は、経済的な費用というよりも、これは非常に高く、母性、芸術、研究開発に投入される国家予算よりも寛大に優れているのですが、人種的なものです。彼らの習慣、倫理観、能力は本質的に我々とは異なるものであり、我々の社会を不安定にし、妨げるものであるため、彼らは常に本来のテリトリーの外では有害な要素であり続ける。もし私たちがすでに混血や人種の代替について話しているのであれば、それはできるだけ早く根絶すべき問題であると判断しなければならないでしょう。破壊された地域は修復できますが、混血は再び調和するのに何世代、何世紀もかかり、そうであっても最初の項目に戻ることはないのです。

**DA新たな大量移民と「難民」危機についてはどうでしょう？スペインも他の国と同様にこの影響を受けているのでしょうか？もしそうなら、どのような形で？**

イサベル・メディナ・ペラルタ

これは悲惨なことであり、私たちはここで瞑想の訓練をしなければなりません。彼らは人命の象徴であり、紛争や生活にまったく支障のない状況から逃れ、自らの危険を冒してここに来ていることを理解しなければなりません。ヨーロッパに到着し、多くの人々が犯罪を犯し、テロを引き起こすとはいえ、彼らは犯人ではありません。私たちは、そのような人々が私たちの理解する世界を理解する能力がないことを理解しなければなりません。私たちの文化や文明的な行動を彼らに要求することはできません。私たちは彼らに、戦ったりギャングを作ったりする代わりに、ピアノを手にしてセレナーデを演奏するように要求することはできません。私たちがすべきことは、世界の美を守ることです。スルマ族の部族舞踊やマサイ族の儀式、ボッティチェリの彫刻やワーグナーのオペラなど、すべてが世界の多色性、多様性の豊かな宝を構成しているからです。なぜなら、ヨーロッパに入れば、彼らは決してヨーロッパ人ではなく、混沌が目に見える形で現れるからです。したがって、移民危機の問題を根絶するためには、その本質に迫り、それらの国で戦争を生み出し、ヨーロッパのドアに「難民歓迎」と書き、この品種の集まりが引き起こす自然

な対立を自慢しているものを指摘しなければならない。彼らは人間であり、アーリア人の優しさは、彼らの国で、問題の根源と戦う彼らを助けるべきである。

**DA:** 大量の移民はスペイン人にとっての脅威なのでしょうか？  
もしそうなら：どのような方法で？

イサベル・メディナ・ペラルタ

それは、彼らがもたらす不安定化という点での脅威である。例えば、経済的な面では、彼らは国の援助を受けていますが、それは納税者のポケットから出るもので、例えば都市の美しい建築物を修理するためのものではありません。援助を受けず、合法的に生活し、税金と家を払っているスペイン人が生きていけないような不相应な賃金で仕事を受け入れるという点では脅威であり、したがって雇用主は賃金を切り下げ、スペイン人は需要と供給の法則のおかげでその不相应な給与を受け入れるしかない。しかし、一番の問題は、民族文化のアイデンティティ、自然環境、そして、自分の問題は隣人の問題であるという同質的なコミュニティの原則の喪失にあるのです。

**DA** スペインとヨーロッパの他の国々にとって、この大量の移民と「難民」の危機を終わらせる解決策は何でしょうか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

私たちは、大金持ち、国際的なユダヤ人の支配とその確立されたシステムに反対して戦わなければならない。原住民に、責任を取るのは私たちの責任ではないこと、思いやりは自分の命を否定することではないことを認識させるのだ。人類は、他の種と同様に、顕著で和解しがたい差異を有している。人種差別は自然で肯定的な倫理と見なされなければならない。そのためには、人種差別主義者は模範的でなければならない。街中で黒人を「サル」と呼ぶような不条理な行動に流されてはならない。彼はサルではないのだから。我々は、優れた人種の擁護者、代表者、守護者として、常に模範的かつ正義感を持って行動しなければならない。アーリア人は、世界の他の人々の光でなければならない。

**DA:** 現在の難民危機は、スペイン国内のナショナリスト組織のメンバー募集や影響力・政治力を後押ししているのでしょうか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

数ヶ月前、セウタとメリリャで、9000人の移民が暴力的に国境を越え、警官を殴り、家を占拠し、女性を強姦するという暴力的なエピソードがあった。当時は、SSよりもナショナリストの数が多いように思えたが、数回のツイートの後、これらの人々は分散し、危機の焦点に赴いて戦うようなグループを組織することは当てにならないだろう。この人たちの「引き金」に必要なのは、憎悪と反発を呼び起こす暴力行為であり、憎悪は断固とした行動につながらないので、これは効果的ではありません。彼らとの戦いは、憎しみによって動かされる行動ではなく、自分の国民や家族、世界の立場に対する愛によって動かされるものでなければならないことを、正義感を持ってはっきりと理解する必要がある。このことを理解した人間だけが、自分の命を捧げることを厭わないだろう。

**DA:** あなたの国の敵はどのくらい強いのですか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

どうやらこの問題は、他のヨーロッパ諸国ほど深刻ではないらしい。1492年にユダヤ人が我々の王国から追放され、我々は近代史上最大の帝国になることができた。しかし、ウクライナやドイツ、ルーマニア、ポーランドのような問題はないものの、深刻な問題を抱えていますし、これまでも抱えていました。ユダヤ人は常にそこにいて、我が国から追放するだけでは不十分であり、（異端審問で行われたように）改宗を強制することもできない。「彼らは嘘の達人」であり、彼らはまた隠れて、しかし戦略的な位置に定着する。スペインの歴史の中で最も一般的なユダヤ人のタイプは、ヨーロッパの兄弟たちの不名誉となったアシュケナージではなく、セファルディと呼ばれる、あまり騒がしくないユダヤ人のタイプで、政治や流血革命にはあまり興味がありませんでした。彼は文化的なユダヤ人で、私たちの民族について広く知られている「黒い伝説」をすでに準備していた。彼は政府や官僚組織に身を置き、国王や共和制大統領の顧問となる影響力のあるユダヤ人である。フランコは、国際ユダヤ人がスペインでも地位を確立するのを大いに助け、その融資を受け入れ、利権を譲り渡した。

現在、スペインには国営企業が存在しないため、ヨーロッパの他の地域と同じようにユダヤの影響を受けています。通貨もユーロで、利子とユダヤの負債に服従させられている。エネルギーシステムは主要供給者が所有しているのではなく、彼らの名字にヤハウエのブランドが刻み込まれている。消費される映画やマスコミもユダヤ人である。私たちは世界の一部であり、今日の世界には所有者がいる。

**DA:** あなたの政治活動は、特に国際的なシオニズムによる強い圧力のために、すでに多くの論争を巻き起こしています。日常生活において、このことが原因で何か被害を被りましたか／被らなかったですか？もしそうなら、説明してください。また、若い読者には、弾圧にどう対処すればいいのか説明してください。

イサベル・メディナ・ペラルタ

そう、それを否定したら冗談じゃない。政治家の道はバラ色の道ではなく、楽しくも愉快なものでもなく、絶え間ない犠牲の上に成り立っているのです。私が闘争で有名になる前、父は私の過激なコミットメントを理由に私を家から追い出した。友人や親戚を失い、もちろん私のような状況で恋愛関係を維持するのは非常に困難です。イデオロギー的な理由だけで仕事をクビになったり、契約を拒否されたりしたこともあります。理由もなく拘束されることも多く、旅行もできません（入国が許可されている国に旅行に行っても税関で何日も拘束されます）。訴訟も開いていて、そのうちの1つでは、モロッコの移民危機を背景に組織したデモに対して、3年の懲役を求刑されています。2021年2月には、ヨーロッパのいくつかの国からテロリストとみなされるようになった…。しかし、正直なところ、私にとっては当然重要なことであり、影響も受けますが、私はこれらの結果を喜びをもって受け入れています。

私の個人的なアドバイスとしては、まだ時間的に余裕がある若い軍人は、家族や幼なじみのサポートを失わないようにしてほしいということです。それが不可能なら、どうぞ、私たちはストイックに任務を遂行しなければなりません。私たちは、自分たちを取るに足らない人間だと位置づけ、快楽や贅沢を軽んじるが、同時に、自分たちを不滅の思想の泉であり防波堤だと評価しなければならない。

あなたは狂信者でなければならない。狂信は山を動かし、私たちの意志は断ち切れないものでなければならない。大理石の鷲のように硬く、旗のように軽く、犠牲を払うことを学ばなければならない。

**DA**です。**ZOG**もあなたを「デプラットフォーム」（政治から追い出した）り、起訴させたり）しようとはしますが、どのように対処していますか？

イサベル・メディナ・ペラルタ

それは、自分が決めた道の一部として想定される当然の結果なのです。

**DAさん今後のプロジェクトや計画はありますか？**

イサベル・メディナ・ペラルタ

トレーニング、勉強、読書、調査、著作や行為による文化的な貢献を続ける…。  
などがあります。現在、近日中に出版したい本を執筆中です。私の今後の計画は、休むことなく、我々のアイデアのために戦い続けることに他なりません。人間の戦闘性には、ジークフリートとゴッドムントという無視できない2つの極があります。鷲と蛇、思索と行動です。教義的な根拠がなければ、断固とした行動はできないし、行動がなければ、思想は棚の上でほこりをかぶるだけの価値しかない。具体的には、ドイツ共和国が追放令で直感したようなことを実行に移せるよう、私は準備している。国家社会主義は、ヨーロッパ全土と姉妹国で組織された大きな巨人である。私は、国家社会主義が再び合法化され、それが我々の時代の未来を変えるべき教義であることがわかるように戦うことを提案しました。

**DAさん何かお勧めの文献はありますか？もしそうなら：どの本ですか？**

イサベル・メディナ・ペラルタ

英語圏の国家社会主義者は、スペインの作品を翻訳する努力をすることを強く勧めます。なぜなら、スペインの作品は計り知れないほど豊かだからです。ラミロ・レデスマ・ラモスの『La Conquista del Estado』と『スペインのファシズム？』を翻訳し、あなたの国で出版することをお勧めします。また、ラモン・バウの『Nuestras Ideas』は、新しい同志に私たちの世界観を紹介するのに理想的なテキストなので、読むことをお勧めします。一方、国家社会主義者になり、その意味を本当に理解するためには、若い軍人はまず、私が「アーリア人の聖書」と考えている『イリアス』、騎士道小説、『ファウスト』、ワーグナーの主要なプロット…などの作品を知らなければなりません。まず、自分の民族のために戦うことができるように、ヨーロッパ人（ヨーロッパまたはアメリカ）であることの意味を知らなければなりません。最後に、主なもの、それは私たちの時代の風潮によって腐敗したり、侵されたりすることのないものです。我々の思想の礎である『MEIN KAMPF』と総統の演説、そしてフェーダーの『利殖と利子への隷属に反対するマニフェスト』など、党図書館にある必須の本です。



DAです。インタビューありがとうございました。これからも頑張ってください。  
勝利は我々のものだ!最後に読者に向けて、自由に言葉を添えてください。

イサベル・メディナ・ペラルタ

私は、貴誌の出版で称賛に値する仕事をしていること、また、私の国の歴史を知り、私の国や大陸を窒息させている問題を暴露する場を与えてくれることに感謝したいと思います。

勝利は我々のものであり、千年の帝国は勝利するのだ。

ハイル・ヒトラー!



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN  
ERBEKAMPFERS AUFLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

*Der Kampf geht weiter !*

Seitlich Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Jahrzehnte von Massentötung, Verdrängung und Verleumdung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der germanischen Rassen hoch qualifizierten Führern Adolf Hitler zu unterwerfen.

Alle Nationalsozialisten sind weniger afrikanische Völker und Rassen gemischten alten Schädel an Schädel im Kampf um die Erhebung unserer weißen Völker.

Der Bewegung ist zwar militärisch gelungen, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend Gegner ist aber dabei, dem Volkstum – gegen alle weißen Völker (V) – zu begehen. Seine Mittel sind Entnazifizierung, Überforderung und Rassenmischung.

Ein "neg" oder "negid", ob im Weltkrieg oder im Stromkampf, ob als Propagandakämpfer, Sowjetoffizier oder als einen Vorkämpfer anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler  
Gerdhard Lenz



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



**N.S.ニュース速報A**  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005 19.06.2022 (13)

**NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA**

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningthescient.com/truth.htm](http://www.mourningthescient.com/truth.htm))に集中していますが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の地雷原です。一つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




**the NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founded 1973 April 26, 2022 (13)

*The Fight Goes On !*

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware consciences and racial kinemen fight our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are neo-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "neg" or "negid", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!  
Gerdhard Lenz



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

## NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO nsdapao.info**